

予防医療入門

責任者・コーディネーター	地域医療薬学分野 高橋 寛 教授		
担当講座・学科(分野)	地域医療薬学分野		
対象学年	2~4	区分・時間数	講義 6時間
期 間	前期		
単位数	0.5単位		

・学修方針（講義概要等）

健康寿命が延伸し、人生100年時代になった。しかしながら、高齢化に伴い多疾患、多剤併用など医療費の点から課題も多い。そのため、今後は病気になってから治療するのではなく、疾病の予防、重症化の予防が重要になる。かかりつけ薬剤師や健康サポート薬局では、地域住民の予防医療の支援を行う役割がある。その方法の1つとして生活習慣の改善や健康診断の受診勧奨、ワクチン接種への関わりなどがある。また近年、健康状態を自ら知ることができるアイテムが増えてきている。これらを十分に活用し、地域住民の健康支援に関わることができるようになるために、予防医療に関する基本的知識を学修する。

・教育成果（アウトカム）

予防医療の知識を学修することで、予防医療の重要性を認識し、セルフメディケーションの支援を含め、地域住民の健康支援として情報発信ができるようになり、国民の健康維持に貢献できるようになる。
(ディプロマ・ポリシー：1,2,3,4,9)

・到達目標（SBO）

1. 社会における遠隔医療の必要性和意義について説明できる。(☆)
2. 人生100年時代における健康寿命延伸の意義について説明できる。(☆)
3. 薬局などでできる疾患スクリーニング方法（緑内障、白内障、HPV（ヒトパピローマウイルス）、糖尿病、脂質異常症、高血圧など）とその意義について説明できる。(☆)
4. 心疾患やフレイル、嚥下障害などを薬局で早期に発見するための方法を説明できる。(☆)
5. 疾患の重症化予防に薬局が関わる意義を説明できる。(☆)
6. 健康維持におけるサプリメント摂取や栄養補助食品摂取の有用性について説明できる。(☆)
7. 予防医療に利用されている医薬品の特徴を説明できる。(☆)
8. 予防医療における薬剤師の役割について討議する。(☆)

・講義日程

(矢) 西 103 1-C 講義室

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
5/25	木	5	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授 岡崎 光洋 薬剤師	社会の変化と予防医療の必要性 人生100年時代の中で、国民の健康支援のためにどのようなしくみが必要

					<p>で、健康寿命を延伸する意義を説明できるようになる。</p> <p>1. 人生 100 年時代における健康寿命延伸の意義について説明できる (☆) 2. 社会における遠隔医療の必要性と意義について説明できる。(☆)</p> <p>【対話・議論型授業】【ICT(moodle)】</p> <p>事前学修：健康寿命の延伸が必要な理由をインターネットなどで調べ、400 文字程度でまとめてきてください。</p> <p>事後学修：授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポート (400～600 文字程度) を提出してください。</p>
6/1	木	5	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授 岡崎 光洋 薬剤師	<p>予防医療 (1 次予防) と健康維持 健康診断などスクリーニングで行われている検査の意義について説明できるようになる。</p> <p>1. 薬局などでできる疾患スクリーニング方法 (緑内障、白内障、HPV (ヒトパピローマウイルス)、糖尿病、脂質異常症、高血圧など) とその意義について説明できる。(☆)</p> <p>2. 予防医療における薬剤師の役割について討議する。(☆)</p> <p>【対話・議論型授業】【ICT(moodle)】</p> <p>事前学修：薬局で疾患スクリーニングができると何がかわるのかを調べ、400 文字程度でまとめてきてください。</p> <p>事後学修：授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポート (400～600 文字程度) を提出してください。</p>
6/8	木	5	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授 岡崎 光洋 薬剤師	<p>予防医療 (2 次予防) と健康維持 疾患の重症化や合併症の予防に関わる方法について説明できるようになる。</p> <p>1. 心疾患やフレイル、嚥下障害などを薬局で早期に発見するための方法を説明できる。(☆)</p> <p>2. 疾患の重症化予防に薬局が関わる意義を説明できる。(☆)</p> <p>【対話・議論型授業】【ICT(moodle)】</p> <p>事前学修：薬局が疾患の重症化や合併症予防で実践していることを調べ、400 文字程度でまとめてきてください。</p> <p>事後学修：授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポート (400～600 文字程度) を提出してください。</p>

6/15	木	5	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授 岡崎 光洋 薬剤師	<p>健康アイテムと健康維持 未病の維持、合併症の予防のために、サプリメントや栄養補助食品の摂取がどのような意義をもつか説明できるようになる。</p> <p>1. 健康維持におけるサプリメント摂取や栄養補助食品摂取の有用性について説明できる。(☆) 2. 予防医療に利用されている医薬品の特徴を説明できる。(☆) 3. 予防医療における薬剤師の役割について討議する。(☆)</p> <p>【対話・議論型授業】【ICT(moodle)】 事前学修：健康維持のために、世の中にはどんなアイテム（サプリメントや健康食品）があるか調べ、400文字程度でまとめてきてください。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポート（400～600文字程度）を提出してください。</p>
------	---	---	----------	----------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	予防医療のすべて	岡田唯男 ほか	中山書店	2018

・成績評価方法

聴講態度（50%）とレポート（50%）で評価を行う。

・特記事項・その他

事前学修・事後学修のポイント
事前学修については、事前に moodle 上に課題を提示しますので、事前課題としてレポート用紙等に 400 文字程度でまとめてきてください。毎回 30 分程度要します。
事後学修については、授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポート（400～600 文字程度）を作成し、提出してください。毎回 30 分程度要します。
事前課題やレポート等に対するフィードバック方法
課題に関しては、授業中に回答例の一部を紹介するなどフィードバックを行う。
提出されたレポートは、コメントを付けて、直接もしくは moodle 経由にて返却する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン（パナソニック CF-NX3）	1	スライド投影のため
講義	パソコン(Microsoft Surface Laptop Model1769)	1	スライド投影のため

